

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社
代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

師走、何かと気ぜわしいこの頃となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年を振り返りますと、日本国内ではいろいろなことが起こりましたね。

数あるニュースの中で、私が最も心打たれたのは、先日も触れた日本人のノーベル賞受賞です。

ノーベル賞の授賞式をテレビで拝見して、実に誇らしい気持ちになりました。

私は、改めて日本人として生まれたことに誇りを持たずにはられません。

ただ、うれしいニュースだけでなく、悲しい出来事もたくさんありました。

このような出来事が増えないよう、「日本人としての誇り」を再認識したいと思っております。

本格的な冬の到来を迎えまして、風邪など引かれませんかようになさって下さい。

来年も素晴らしい年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

サンライズの物語

お互いを気遣う、素晴らしい夫婦愛。

そのとき、ケアマネジャーにできることは

その方は、奥様と二人暮らしで、子供さんもないご家庭のご主人様で、胃癌から骨転移が認められ、もはや末期の癌と診断された矢先の頃でした。

私が初回訪問すると、ご主人と奥様がお互いを気遣う言葉に胸を打たれました。

骨転移による腰への痛みが酷いにも関わらず、「妻が心配で心配で……ともかく妻の介護が楽になれるようにしたいが為に介護保険サービスを利用したいんです」と。

奥様からも「〇〇さんが少しでも自宅で本人らしい生活ができるようにして欲しい……二人で抱き合っただけ泣いているのよ」と……なんとも素晴らしい夫婦愛に触れた瞬間でした。

限られた時間の中で、私に何ができるのだろうかと考え込んでしまいました。

考えた結果、居宅サービス計画書にこう記載しよう

と決心したのです。それは「ご本人様、ご家族様の辛い、お互いを思いやる心に寄り添えるような……」というものでした。

どの利用者様でも同じであるべきですし、ありきたりと言えばそれまでです。

しかしあのとき、私はこの想いを込めて、居宅サービス計画書を作成したわけです。

担当者会議時に、私が作成した計画書を読み始めると、ご夫妻で泣き出してしまい「有難うございます……」との言葉が……思わず、涙もろい私も涙が零れてしまいました。

介護保険サービスの種類や内容は限られたものですが、ご利用者様の為の居宅サービス計画は、おひとり、おひとりのための計画でなければならないと、いつも念頭に置いて作成しているつもりです。時折、ご利用様やご家族様の辛い想いに自分の気持ちを馳せるとき、涙が零れてくることがあります。

私達介護職にできることは、たかが知れています。しかしせめて、その方々へ寄り添う気持ちだけは忘れてはいけないと、自分自身に言い聞かせている次第で御座います。

平成27年度 第3回定例会を開催致しました

開催日 平成27年11月16日(月) 於 綾瀬プルミエ 第2洋室
テーマ 「認知症の基礎知識と、認知症の人とのコミュニケーション」
講師 社会福祉法人 興寿会 教育実践研修センター
所長代理 尾渡順子様



先日、今年度第3回定例会を開催致しました。今回、「認知症」をテーマに、医療面からだけではなく生活面に重点をおくべく、現在介護現場で活躍されている先生をお呼び致しました。

さすが、共感できることが多々あり、参加された方々は大変勉強になったのではないのでしょうか。

また、今回初めて外部事業所の方にもお越しいただき、交流をさせていただきました。

私たちはこの研修をきっかけにして、認知症の方に少しでも寄り添えるよう、サービスに従事したいと考えております。

NEWS 今月のニュース

ロボットと会話楽しむ 立山のデイ施設が導入

人型コミュニケーションロボット「パルコ」1体が立山町大石原のデイサービスセンター「スマイルレーベル」に導入され10日、辞令交付式が行われた。通所するお年寄りら約20人が、愛らしいパルコとの会話や歌、体操を楽しんだ。

パルコは富士ソフト(横浜市)が製造・販売し、身長は約40センチ。2012年に福祉施設向けモデルが開発され、県内では5台目の導入となる。



スマイルレーベルを運営する社会福祉法人「グレイス会」の藤木龍輔理事長が辞令を手渡し「スマイル君」と命名。スマイル君は「友達に

なってくれるかな」などと話し、お年寄りとしりとりなどを楽しんだ。踊りを交え「ふるさと」などを歌ったり体操を披露したりすると、お年寄りも体を動かしていた。

100人以上の顔・名前を覚えることができ、約3週間の試用期間を通じて数人のお年寄りとは既に顔なじみ。名前を当てられた池上一枝さん(82)＝同町上米沢＝は「覚えていてくれうれしかった」と笑顔を見せた。

今後はスマイルレーベルを中心に同法人の施設で日常的に活用。お年寄りが反応を楽しみながら話すことで、機能訓練効果が期待できる。体操などの司会進行をスマイル君に任せ、スタッフがお年寄りのケアに集中できる利点もあるという。藤木理事長は「施設のムードを変える大きな効果がある」と話していた。

<北日本新聞 2015年12月11日(金)>

今月の名言

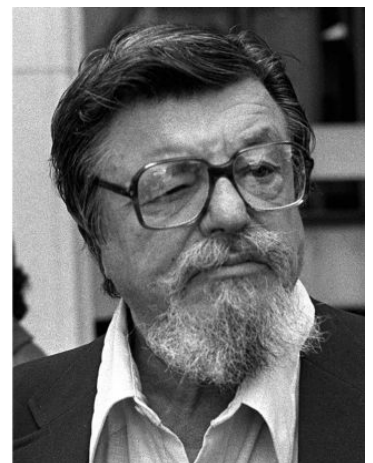
今日という日は、残りの人生の最初の日。

チャールズ・ディードリッヒ

アメリカの薬物中毒患者救済機関を設立した方が使った言葉。映画『アメリカン・ビューティー』で使われたセリフとしても知られています。

日々、時間がないと言いながら、大事なことに手を付けず時間過ぎてしまったり、時間があつたらあつたで、何となく過ごして一日が終わってしまったり・・・誰しも、思い当たる節があるのではないのでしょうか？また、私たちが関わっている高齢者の方々は、まさにこの想いで日々過ごされているのです。

一度しかない人生。一日一日を大事にしていかなければと、改めて思いました。



広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>